

環境県民局 資 料	No. 5
--------------	-------

令和7年11月19日
課 名 環境県民局文化芸術課
担当者 課長 山中
内 線 2718

特別展「木村伊兵衛 写真に生きる」の開催について

1 要旨・目的

広島県立美術館において、令和7年12月13日（土）から令和8年2月8日（日）までの間、特別展「木村伊兵衛 写真に生きる」を開催する。

2 現状・背景

広島県立美術館において、多様な美術鑑賞の機会を提供している中、今回は、被爆80年を踏まえ、写真家・木村伊兵衛が撮影した戦後間もない広島の風景写真などを紹介する展覧会を開催する。

3 概要

(1) 実施主体

木村伊兵衛広島展実行委員会（広島県立美術館、(株) イズミテクノ）

(2) 実施期間（日時）

会 期：令和7年12月13日（土）～令和8年2月8日（日）

（年末年始の期間（12/25～1/1）は休館）

開館時間：9時～17時

（12月13日は10時開場、金曜日は19時まで開館。入場は閉館30分前まで）

(3) 実施内容

昭和時代の日本の写真界を牽引し、現在では新人写真家の登竜門とされる賞の名称にもなっている写真家・木村伊兵衛が、戦前から戦後間もない時期の広島や日本各地の風景などを撮影した作品165点を展示することで、その時代の人々の営みや生活の様子を感じ取ることができる内容となっている。

4 その他（関連情報等）

(1) 縮景園及び他美術館との連携

本展入館券の提示により、縮景園に100円で入園できる。

また、本展会期中、広島県立美術館、広島市現代美術館及びひろしま美術館の3館で特別展相互間の割引を実施する。

（特別展チケット（半券可）の提示で、当日料金を100円割引）

(2) 関連ホームページ

広島県立美術館ホームページ：<https://www.hpam.jp/museum/>



木村伊兵衛

THE KIMURA

写真に生きる

Living in Photography

2025 12.13 Sat. → 2026 2.8 Sun.

【開館時間】9:00～17:00(金曜日は19:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで ※12月13日は10:00開場

【休館日】年末年始(12月25日[木]～1月1日[木])

【入場料】一般 1,500円／高・大学生 1,000円／小・中学生 700円

◎会期中、本展チケットのご提示(半券可)により、100円で縮景園にご入園いただけます。

※前売・20名以上の団体は当日料金より200円引き ※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

※前売券は、広島県立美術館、セブンチケット(セブン・コード:112-762)、

広島市・呉市内の主なブレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。

主催:広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社、中国放送

後援:広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかい76.1MHz

協賛:広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団 企画制作:クレヴィス

※開館情報等に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

<https://www.hpam.jp/museum>



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum





ライカを構える木村伊兵衛自写像、1965

日本を代表する写真家、木村伊兵衛(1901-1974)は、1920年代に実用化が始まった小型カメラ・ライカに写真表現の可能性をいち早く見出し、日常を切り取るスナップショットで名声を確立。ライカの名手として名を馳せました。本展では、歌舞伎などの舞台写真、カラーフィルムによる滞欧作品、秋田の農村を捉えたシリーズなど、人間の営みの美しさを伝える約165点の選りすぐりの作品によって、写真史に大きな足跡を残した木村伊兵衛の活動を振り返ります。



ミラボー橋、パリ、フランス、1955

私が撮り続けてきたのは、 人びとの生活や顔である



那覇の市場、本通り、沖縄、1936



板塀、追分、秋田、1953



若い人、広島、1946



本郷森川町、東京、1953

いずれの作品も©Naoko Kimura

関連イベント

記念講演会
「木村伊兵衛とヨーロッパの写真家たち」
1月10日(土) 13:30～15:00(開場13:00)
講師:甲斐義明(新潟大学准教授)
会場:地階講堂 共催:広島県立美術館友の会
※聴講無料 ※要事前申込(電話082-221-6246)

美術講座
「木村伊兵衛を読むー写真と言葉を通して」
2月1日(日) 13:30～14:30(開場13:00)
講師:山下寿水(当館主任学芸員) 会場:地階講堂
※聴講無料 ※要事前申込(電話082-221-6246)

ギャラリートーク
12月19日(金)、1月9日(金)、1月23日(金)、2月6日(金)
各日11:00～、17:00～
会場:3階展示室 講師:当館学芸員
※要入館券 ※事前申込不要

インスタライブ
12月23日(火)、1月13日(火)
各日17:00～
講師:当館学芸員



公式Instagram

撮影ワークショップ
「お庭で撮影会」
12月20日(土)及び21日(日) 13:30～15:30(受付13:00～)
講師:藤岡亜弥(写真家、第43回木村伊兵衛写真賞受賞者)
会場:縮景園、広島県立美術館
持物:カメラまたはスマートフォン
参加費:1,000円
※要本展入館券、入園券 ※先着15名(両日参加可能な方)
※要事前申込(電話082-221-6246)

ロビーコンサート
「にほんのうた 昭和100年」
演奏:東京オペラシンガーズ 会場:1階ロビー
※鑑賞無料 ※事前申込不要
※開催日時については、当館HP、SNSで告知します。

縮景園連携企画
「美術館×縮景園
連携スタンプラリー」

戦後間もない1947年、木村伊兵衛は縮景園に訪れて写真を撮影しました。このことにちなんで、会期中、本展にちなんでデジタルスタンプラリーを縮景園で実施します。
※要入園券 ※要スマートフォン



■アクセス ・JR広島駅より約1km ・広島城より約400m
・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m
・ひろしまめいぶる〜ぶ(広島駅新幹線口のりば発着、市内循環バス)
「県立美術館前」下車約80m

県美×現美×ひろ美 相互割引

本展の会期中、広島市現代美術館、ひろしま美術館で開催中の特別展チケット(半券可)を御提示いただくと、当日料金より100円引きで御鑑賞いただけます。詳しくは各館にお問い合わせください。
※1枚1名様限り ※その他の割引の併用はできません。



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
tel. 082-221-6246 fax. 082-223-1444

<https://www.hpam.jp/museum>